学校番号	104

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ（理系）	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	NEXT 数学Ｃ　（数研出版）						
副教材等	CONNECT 数学Ｃ　（数研出版） チャート式　解法と演習　数学Ⅲ＋Ｃ　（数研出版） クリアー数学演習Ⅲ・Ｃ[複素数平面，式と曲線]　受験編　（数研出版） メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・Ａ・Ｂ・Ｃ[ベクトル]　受験編　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書の例題，重要例題を中心に授業の予習復習を丁寧に行ってください。また、問題演習については、すぐに答えを見るのではなく、問題に粘り強く向き合い考え抜く練習をしてください。また、途中式や考え方を論理的に記述できるようにしましょう。

2　学習の到達目標

(1) ベクトル，平面上の曲線と複素数平面の考えについての概念や原理・法則を体系的に理解し，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

(2) 大きさと向きをもった量に着目し、演算やその図形的な意味の考察する力，さらに図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力を身に付ける。

(3) 事象を数学的論拠に基づいて考察・判断を行い，積極的に数学を活用する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトル，平面上の曲線における概念，原理・法則などを体系的に理解し，既習の知識と関連付けながら基礎的な知識を身に付けている。 また、事象を数学的に解釈し，表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	ベクトル，平面上の曲線において，事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。	ベクトル，平面上の曲線における考え方や体系に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用し，数学的論拠に基づいて判断しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第2章　空間のベクトル	1　空間の点 2　空間のベクトル 3　ベクトルの成分 4　ベクトルの内積 5　ベクトルの図形への応用	a:空間座標および空間のベクトルについて内容を理解し，表現・処理することができる。 b: 空間座標および空間のベクトルを用いて，空間図形を多面的に捉え，論理的に考察・活用することができる。 c:空間のベクトルおよび空間座標に関心をもち，その有用性を認識している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート
	第4章　式と曲線	第1節　2次曲線 1 放物線 2 楕円 3 双曲線 4 2次曲線の並行移動 5 2次曲線と直線 6 2次曲線と離心率 第2節　媒介変数表示と極座標 7 曲線の媒介変数表示 8 極座標と極方程式 9 コンピュータの利用	a:放物線・楕円・双曲線および媒介変数表示に関する基本的事柄を理解し，事象を表現・処理することができる。 b: 放物線・楕円・双曲線および媒介変数表示に関する数学的な見方や考え方を身に付けている。 c: 放物線・楕円・双曲線および媒介変数表示に関心をもち，その有用性を認識している。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート
2学期	問題演習	総合問題演習	a: 既習の単元の基本的な性質を理解し，知識を身に付けている。 b: 問題を解くための条件を導き、それを数式化し、論理的に表現することができる。 c：積極的に問題演習を取り組み、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート

3学期	問題演習	総合問題演習	a: 既習の単元の基本的な性質を理解し，知識を身に付けている。 b: 問題を解くための条件を導き、それを数式化し、論理的に表現することができる。 c：積極的に問題演習を取り組み、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題解決に活用しようとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度